

研修の全体計画

学校教育目標

夢いっぱい ふれあいいっぱい
こころ豊かに生きる 竹っ子の育成
～共に やさしく・かしこく・たくましく～

めざす子ども像

< やさしく >
友だちと心を通わせ，自分も
友だちも大切に子ども

< かしこく >
しっかり考え，自分の思い
を伝えられる子ども

< たくましく >
新しい目標に挑戦し，自分を
高めようとする子ども

研究主題

自分の考えを表現し，進んで学び合う子どもを目指して

主題の分析

自ら考える子ども	生き生きと学び合う子ども
・自分の考えをもつ子ども ・友だちの考えを聞く子ども ・学習意欲のある子ども ・問いを発する子ども ・主体的に課題に挑戦する子ども ・工夫したり確かめたりする子ども	・自分の考えを伝える子ども ・考えを深めたり広げたりする子ども ・学ぶことの楽しさを感じる子ども ・自分の考えを振り返る子ども
・基礎的・基本的内容が身に付いている子ども ・課題解決のための手立てを知っている子ども ・よい考えを取り入れようとする子ども ・意欲的に学ぼうとする子ども ・見通しをもち，根気強く取り組もうとする子ども	

研究の仮説

少人数・複式学級における学習活動を工夫し，言語活動や学び合いの場を充実させることにより，子どもたちは自分の考えを分かりやすく表現したり，考えをより高めたり深めたりすることができるようになるであろう。

研究の重点

- (1) 根拠や理由を示して意見を述べたり，話型を活用して発言したりすることができるよう繰り返し指導することによって，分かりやすく適切に表現する力が身に付くようにする。
- (2) 考えを比較・検討する場を設定し，学び合いを充実させた学習展開を工夫することにより，子どもたちの思考力・判断力・表現力の向上を目指す。
- (3) 振り返りの場や方法を工夫することにより，友だちのよさを積極的に取り入れたり，自分の学びに生かしたりすることができるようにする。
- (4) 少人数・複式学級並びに特別支援学級の学習活動を通して，学び合いを取り入れた学習の進め方や学習リーダーを中心とした学習の仕方を理解し，主体的な学習を積み重ねることにより，自分の力で課題を解決しようとする力が身に付くようにする。

各教科

道徳・特別活動・総合的な時間

生徒指導

- ・一人一人のよさやがんばりを認め，評価する。
- ・心の触れ合いを大切にし，子どもの思いを大切にする。
- ・子どもに寄り添い，共に学ぶ。